

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第2790地区
木更津東ロータリークラブ

2021-22年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2021-22年度国際ロータリーテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

第17回例会 NO.2538

2021年11月24日

【 ガバナー公式訪問 】



【懇談会 (10:00~10:45)】

出席者: ガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事・
会長エレクト・副幹事

【例会 (11:00~11:30)】

■司会進行 加藤智生 SAA

◆点鐘 11時00分

渡邊慎司会長

◆国歌斉唱 「君が代」

◆Rソング 「奉仕の理想」

◆出席 会員41名 ◆出席率 71.05%

出席27名 ◆前々回出席率 73.68%

欠席15名 ◆修正後出席率 76.31%

◆欠席者【敬称略】

石井文子・叶川博章・近藤直弘・阪中昌司・
嶋津正和・鈴木秀幸・趙 亜南・鶴岡大治・
中野麻美・林田謙志・宮寺順子

◆四つのテスト

小林裕治会員



◆メイクアップ

・11/15 指名委員会

渡邊慎司・吉田和義・渡邊元貴・加藤智生・
大里光夫・大澤藤満・松岡邦佳

・11/30 第6回第5グループ会長・幹事会

渡邊慎司・吉田和義

ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 慎 司
幹 事 吉 田 和 義
編 集 大 岩 も え

国際ロータリー第2790地区

RI会 長 シェカール・メータ
地区ガバナー 梶原 等
ガバナー補佐 鈴木 荘 一

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

渡邊慎司会長

◇ガバナー 梶原 等様

■会長挨拶・報告

渡邊慎司会長



本日は国際ロータリー2790 地区梶原ガバナーにお越し頂きまして、誠にありがとうございます。また、緊急事態宣言を受けての延期への対応につきまして、重ねて御礼申し上げます。

入会歴の浅い会員も多くいますので、ガバナーとはどのような役職なのかを少しお話させて頂きます。MY ROTRY のガバナーというページには、「ガバナーは、奉仕プロジェクトやロータリーのさまざまなプログラムへの参加を奨励しながら、クラブのモチベーションを高めるという大切な役割を果たします。」と述べられています。

ガバナーは、就任の2~3年前に、地区内クラブによって選出され、ガバナーノミニ、ガバナーエレクトと呼ばれる役職をこなして、ガバナーとなる事ができます。また、ガバナーエレクト時には国際協議会に出席しなければいけません。その他にもガバナーになるための講習などを受ける必要があります。

11月のガバナー月信をみると、第2790地区は9月末日で82クラブ、会員数2,676人となっています。多くの会員を束ねるリーダーとしての役割を果たしています。また、82もあるクラブを訪問してロータリーについての指導や支援をして回るので、精神的にも体力的にも大変な役職だと言えます。

先日の地区セミナーでも梶原ガバナーがおっしゃっていましたが、ガバナー職も12月までが大変忙しく、年を越すと次年度の準備等が始まってくるので、賞味期限はきれるけど消費期限は残っているといった感じの様です。クラブの会長職も同様で、12月の年次総会が終わるとホッとすることができます。

この様にガバナーになるにはその前に多くの研修や、国際会議に参加し、ガバナーの任期時にも多くのセミナーや公式訪問など、1年中飛び回らなければなりません。そして、ガバナーの次にはパストガバナーとして地区での委員長など多くの役職を担うようになります。当クラブの山田パストガバナーも地区において幾つかの職を兼務しています。

本日は梶原ガバナーから地区に関する事、ロータリーに関する事など多くのお話を頂ける事になっております。事前に頂いた資料の量がとても多かったので、ガバナーとして私たちに会員に伝えたいことが多いのだとわかりました。

会員のみなさんもこれを機会に地区についてロータリーについて知って頂きたいと思いません。

■表彰状授与 米山功労者メジャードナー 山田修平会員



■次年度理事候補者発表

指名委員会 林孝二郎委員長



木更津東ロータリークラブ細則第9条により、11月15日に指名委員会が開催されました。指名委員会は同細則により会長、会長エレクト及び会長の指名する5名の会長経験者により構成されると定められており、私が委員長に互選されました。細則では、「指名委員会は、副会長、会計、副幹事及びその他の5名の理事について候補者を指名し、年次総会1週間前の例会において発表する」旨定められておりますので、以下の通り候補者を指名、発表いたします。

副会長:近藤直弘、会計:佐藤丈夫、副幹事:小林裕治、理事:松岡邦佳、加藤智生、藤野宏治、宮寺順子、林孝二郎

今日発表された候補者は、来週12月1日の例会時の年次総会において採決により決定されることとなります。

なお、すでに決まっているその他の役員は以下の通りです。

会長:大里光夫、直前会長:渡邊慎司、会長エレクト:堀内正人、幹事:石田亨 以上です。

■ガバナー講話

RI第2790地区 ガバナー 梶原 等 様



2021-22年度 第2790地区ガバナーを拝命しました梶原等と申します。千葉RCに所属しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度はグループ再編の件、ガバナー補佐選出の件で地区内のクラブの皆様をお騒がせしました。唐突な話であったことに改めて反省しお詫び申し上げます。又、その再編等に関してご理解を頂きました皆様には改めてお礼申し上げます。今年の1月に地区リーダーシッププランDLP特集号を月信で発行しました。ここで改めて地区のリーダーシッププランについて話をさせていただきます。それでは、2790地区の歴史を振り返りましょう。

当地区は1951年、東京RCをスポンサーとして千葉RCが設立され、その後県内各地にクラブを作り展開してきました。それから70年が経過しました。会員数のピークは1997年に4337名を数え、クラブ数ではちょうど2000年に85クラブが存在しました。今はどうかと言いますと2021年7月1日現在、会員数は2665名、クラブ数は82クラブです。この一年で60数名の退会がありました。そこで地区は戦略計画委員会を立ち上げ、ガバナー、エレクト、ノミニ、デジグネート、更には直近のバスターガバナーとでメンバーを構成しました。地区事務所の課題や、グループ再編の件、あるいは地区として取り組むべき各種プロジェクトについて話し合っ方向性を検討しています。

地区としての課題は何と言っても各クラブの会員数の維持拡大とクラブの強化です。それには地区リーダーシッププランDLP、クラブリーダーシッププランCLP、クラブ戦略計画や地区戦略計画があります。昨年より引き継いだ課題にはガバナー補佐の負担の平準化やグループ再編、ガバナー補佐任命に関する事です。昨年は周知不足により大きな混乱になり、グループ再編は延期に、そしてガバナー補佐の選出に関しては課題が残っています。そして、地区グループの再編会議では今年度中に具体的な案を示し、それを各クラブへ周知し、具体的なアクションに結びつけるための準備をします。そして2022-23年度には地区内へ周知し、広域的なクラブ間の交流を図ります。2023-24年度には再編実施に向け一定の方向性を示します。具体的には地区内を4つのブロックに分け、ガバナー補佐同士が横の連携を取りやすくすると共に、そのことによりガバナーとの綿密な連

携にもつながりその事からクラブの活性化へと役立てていきます。又ガバナー補佐の選出がもっと自由に柔軟になる事が望まれます。これらを今年度各クラブともう一度協議して参ります。それでは、地区リーダーシッププランを確認しましょう。DLPには以下の役割者に明確な責務と任務があります。

「ガバナー補佐」「研修リーダー」「地区委員長」「クラブリーダー」DLPによればガバナー(エレクト)は、ガバナー補佐を任命しそのガバナー補佐が担当するクラブを決め、そのクラブ群をグループと呼びます。ガバナーに変わって担当するグループ群のゼネラル マネージャー RIや地区の意向などを具体的に各クラブへ向けて発し、サポートすることが役割です。ガバナー補佐の役割(ミッション)とは・・・

1. 会員増を見据えた会員拡大計画(戦略)を具体的に。
2. 財団・米山への寄付地区目標に関する対応と周知徹底。
3. クラブ奉仕プロジェクトについて具体的サポート。
4. 中期・長期計画(クラブ戦略計画)の策定。
5. 例会の出席率向上・クラブ会員基盤の向上。
6. 女性会員・ローターアクター等の交流活性化。
7. クラブの長所(注目ポイント)を強化します。

これらがガバナー補佐の役割です。そして、2021年度ガバナー補佐の方々には以下の事を依頼しております。

1. ロータリー地区情報研究会
新会員に職業奉仕を示しましょう！
2. IMは会員基盤向上セミナーとして奉仕プロジェクトや会員増強のインパクトのある事例を皆で学びましょう！
(2つ以上のグループで広域的な集まりを！！
持っていただきたい)
3. 環境保全プロジェクト・ポリオ根絶及びコロナ終息祈願プロジェクト等・ロータリー広報公共イメージのPRも兼ねて地区としての奉仕プロジェクトを実施して参ります。

そして、2021-22年度2790地区スローガンを以下の様にさせていただきました。

昨年度はグループ再編の件や、ガバナー補佐選出の件で地区の中が殺伐とした空気がありました。話が唐突であった等、もう少し相手の立場に立って物事を考え行動すればそのような事にはならなかったと反省しております。愛情をもって接するという事を今一度見つめ直す意味でも、愛他精神、愛他主義である“Love Other Spirit”を地区のスローガンとさせていただきます。そしてサブタイトルとして、『～繋ごう次世代へ夢のある未来に向けて～』とさせていただきます。私達ロータリアンも次の世代にロータリーを渡していかなければなりません、受け継ぐ将来のロータリアンに対して、夢を語らなければなりません。夢ある未来を見せていかなければなりません。

ん。健康で安全な地球を、地域を次の世代に渡していかなければなりません。それが出来るのが私達ロータリアンです。そんな思いを合わせてスローガンとさせて頂きました。

それでも、ロータリーの基本は職業奉仕です！ service です。しかし今は TAKE・ACTION の時代になりました。ベテランのメンバーは若いメンバーには職業奉仕を伝え若いメンバーはベテランメンバーに TAKE ACTION を理解してもらってください。その事がロータリーを輝かせ次の世代に繋ぐ事に結びつきます。

此処で私の職業奉仕の話をさせて頂きます。私の職業は建築設備設計です。ここ数年はロータリーかもしれません・・・ロータリーで培った経験が今に生きています。私がロータリーに入会した当時先輩ロータリアンを見て私も将来は先輩ロータリアンの様に業界団体の役職を受け自らの職業の更に延長線上で活動していきたいと思いました。このロータリーで学ぶことにより、会社の若い社員を育てることに繋がり業界団体の役職を受け、県や国との連携も図れる仕事が出来ようになりました。これらはほぼ同業・近い業種のクラブの先輩が背中を見せてくれたからです。職業でも次の世代に繋ぐ為に奮闘中です！

さて、話は変わります。私達ガバナーはガバナーに成る為の最後の研修である国際協議会へ参加します。その国際協議会場入り口の懸垂幕の標語です。以前は「ENTER TO LEARN GO FORTH TO SERVE」(入って学び、出でて奉仕せよ) (1947-48 年度 S.ケンドリック ガーンシー RI 会長テーマ)と記されていました。私はコロナ禍の為にアメリカには行けず、バーチャルでの国際協議会でしたが、バーチャル上のステージにも「JOIN LEADERS EXCHANGE IDEAS TAKE ACTION」

(リーダーたちが集まり、アイデアを出し合い、社会のために行動しよう)今はこの様に大きく変化してきたのです。改めて、国際ロータリーはロータリーのビジョン声明を発表しています。私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。そしてロータリーの戦略的優先事項と目的は以下の通りです。

1. 「より大きなインパクトをもたらす」
2. 「参加者の基盤を広げる」
3. 「参加者の積極的な関りを促す」
4. 「適応力を高める」

その為には“大きな意識改革”が必要なのです。大きな変化と言えば、昨年 12 月の事です。国際ロータリーが組織改革の発表をしました。

いつの間にか国際ロータリーも組織運営の在り方を見直す時期に来たようです。

- ・100 年続いた地区制度を刷新する様子
- ・Shaping Rotary's Future “SRF” ロータリー未来形成
- ・2018 年 7 月に SRF 委員会が発足

- ・2020 年 12 月に発表され 2030 年から改編案実施予定です。

具体的には、はっきりしたことは解りませんが以下の事が発信されています。

国際ロータリー“未来形成”(SRF)について国際ロータリーは100年以上続いた地区制度を見直し、言語圏や文化圏等に分割した約 40 のリージョン (Region) に分かれ、1リージョンには 30~40 セクション(Section) 世界に 1500 のセクションが生れるということです。構想・日本には 102 のセクションが生れる予定です。セクションにはセクショナルリーダー(任期は2年で、選挙で選出します)リージョンにはリージョンカウンスル(任期は3年で、選挙で選出します)このように大きく変化する様です。詳しいことがわかりましたら改めて通知します。

時代は変革期を過ぎ、既に新しい時代へ突入しております。ロータリーも新しい変化に対応していかなければなりません。時代の先を進まなければなりません。次の世代に夢を繋いでいくのは“Mover ‘S (変革者)”である私達ロータリアンなのです！此処で改めて確認です。ロータリーの本質は？(service fellowship)親睦と奉仕。私達が向かう先は？どこでしょう。輝く未来でなければなりません。本質は決して忘れず、形の変化は恐れずに柔軟に！(多様性: Diversity)胸を張って“ロータリアン”として活動しましょう！！地域に頼られるロータリーになりましょう！多様性: Diversity・公平さ: Equity・開放性: Inclusion をもって流石ロータリー、ロータリアンって言われる為に！高潔性; Integrity を大事にしましょう。そして個々のロータリアンが私の職業奉仕を語りましょう。語り合いましょう。そして伝えましょう！流石ロータリアンって思われる様に自信をもって行動しましょう！更に基本となるクラブは、RI や地区の変化に対応できる事です。自立したクラブである事です。組織の変化に柔軟に対応できる事です。各ロータリアンはロータリーの基本理念である SERVICE を実践する事です。

今年度国際ロータリーのテーマです。

『2021-22 国際ロータリーテーマ』
SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しようみんなの人生を豊かにするために

シェカールメータ会長はこの様にメッセージを発信しました。奉仕とは自分が住むこの空間に支払う賃貸料であると。

Serve is the rent I pay for the space I occupy on this earth

Love for others 他の方の為に生き
Care for others 世話をし
Serve others 奉仕する事です。

ヴィヴユーカーナング インドの宗教か誰かを助ける時その人に恩を施しているとは考えないでください。実際にはその人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが世界から預かった恩恵への恩返しのお供を与えてくれている。人生では与えるもの、“つかえる者”になりなさい。与える時つかえる時も常に謙虚であり“与えさせて頂けますか”。“つかえさせて頂けますか”とお願いをする気持ちになりなさい。誰かの為に生きてこそ人生は価値がある。Only a life lived for others is a worthwhile と仰っています。そして以下のプロジェクトにチャレンジします。

・一つは会員増強です。

Each One Bring Oneつまり会員一人が一人を入会に導きましょう
目標は、120万人⇒130万人へ17年間で達成できなかった事をこの1年間で達成させるというビッグプロジェクトです。

・そして、女子のエンパワーメントです。
世界の中には女子という事で差別や不利益を強いられている。女子の教育、健康、経済的発展のスキルを与えましょう。女性ロータリアンの活躍が国際社会を変えていきます。日本のロータリーは女性メンバーにもっと機会を与えましょう。

・3つ目は“ロータリー奉仕デー”です。

2つ以上のRC、RAC、IACが参加し25%は、市民団体や地域の人々の参加を促す。ロータリー7つ重点項目で奉仕活動をお願いします。

最後にもう一度シェカールメータ会長の言葉を確認します。船は港に居れば安全です。船の目的は港に居る事ではありません。大海に出てこそ船の目的が成就されるのです。変革者である我々は冒険でありメンテナンスではありません。私達は奉仕し、みんなの人生を豊かにするためのパワーと魔法を持っています。

TAKE・ACTION&CHALLENGE

1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

■委員会報告

◆ニコニコボックス報告

親睦出席委員会 内田重会員



◇鈴木克己会員

誕生祝いありがとうございます。もう少し頑張ります。

◇平野秀和会員

結婚祝いのお花を頂きありがとうございます。家が華やかになりました。

◇豊田文智会員

11月23日何回目かの結婚記念日でした。花束を頂きありがとうございます。

◇石田亨会員

結婚記念の花束ありがとうございます。一年に一回ですが、うちの奥様もとても喜んでくれました。来年もよろしくお願いします。又、太田山のカワズサクラの記念植樹もみなさんのおかげをもちまして無事に完了しました。ありがとうございました。

◇小林裕治会員

先日の桜の植樹は金見会員不在の中、石田会員のおぜん立て、バックアップにより大成功?! っぽくなりました! 石田会員、本当に有難うございました。又、林委員長はじめ社会奉仕委員の皆様、会員の皆様のご協力により無事に活動を行うことが出来ました! この場をかりて御礼申し上げます!

◇山田修平会員

梶原等ガバナーには公式訪問にお出頂きありがとうございます。今回例会で米山功労者メジャードナーの表彰状を頂きました。

◇ガバナー補佐 鈴木荘一様



【クラブ協議会（11：30～12：15）】



■司会進行

吉田和義幹事

◆開会の言葉 石田亨副幹事



◆クラブ戦略計画に関する現況

◇戦略計画について

前戦略特別委員会 林 孝二郎委員長



1. 戦略計画特別委員会設置の経緯

クラブ創設 50 周年（2018 年）目標のクラブ長期計画の後を継ぐクラブ長期ビジョンと 3～5 年の行動計画を策定するとともに、2016 年規定審議会で認められた柔軟なクラブ細則について当クラブの方針を定めるため、2019 年 10 月、加藤会長年度に当特別委員会を設置した。

2. 委員会活動

特別委員会の委員としては各奉仕委員会委員長等若手会員を中心に構成した。またパストガバナーの山田会員には顧問役として参加していただいた。毎月 1 回のペースで委員会を開催し、会員へのアンケートの実施、中間報告書の作成を行い、次年度に実施に移すべき事柄については理事会承認を行った。また 2020 年 - 21 年松岡会長年度に委員会を継続し、残された課題を引き続き検討し、本年 6 月に最終報告を行った。

3. 委員会からの結果報告

- ・会員相互の親睦および研鑽の場としての例会を重視する。
- ・地域での奉仕活動をより活発化する。その際、中長期的観点から継続的なテーマで活動を行う。具体的には、これまで行ってきた大田山での奉仕活動を継続するとともに、新たな社会奉仕、国際奉仕を発掘するため例会での卓話の活用により活動の選択を行う。

- ・会員の増強については、いたずらに拡大を目指すのではなく、例会に出席できる人を条件とし、50 人の維持を当面の目標とする。

・IT の活用

週報については、原則ホームページ掲載に換え印刷物配布を極力少なくする。会員への連絡手段は原則メールを利用する。申し出のあった場合にオンラインでの例会参加を認める。IT に不慣れな会員には代替手段を考慮する。

- ・例会頻度については、当面現状通り月 4 回を原則とする。

- ・クラブ細則について、委員会構成、理事数、指名委員会の権限強化、年度途中で入退会の際の会費規程の明確化など改正の必要な点を整理した。

4. 実践への反映

委員会からの報告について、理事会決定を経て順次、実施に移されている。

◇今後の方向性

渡邊慎司会長

1. 本年度の取組みについて

テーマとして「奉仕する大切さをわすれずに」と掲げ、卓話などを通して地域の問題点や、国際奉仕をしている人たちの話を聞く機会を得るようにしている。また、太田山については 2 年前から進めている桜の植樹活動について、桜の植樹だけに終わらずに公園の整備や、市民に太田山をもっと活用してもらえるような取り組みをしていきたい。11 月 21 日に実施した際には木更津道案内人の方にお越し頂き、史跡等について説明をして頂き、太田山を知ることにより興味をさらに増すことができた。

週報については、会員の負担軽減としてなるべく原稿をデジタルで渡し、編集を外部の人に委託している。基本はホームページとなっているが会場でも配れるように 10 枚程度印刷をしている。

例会についても、8 月からの緊急事態宣言を受け基本的にはリモートによる例会としたが、急な取組みだったためリモート環境が整わない会員のため、人数を少なくして別会場において一部対面式としました。

会員増強については、現在 1 名の入会者と、1 名の入会希望者がおり、若干名であるが増員となる一方で、現役会員の急逝といつ悲しい出来事もありました。今後は衛星クラブの導入なども選択肢の一つとして考えていくのも良いと思います。

2. 今後の取組みについて

林前クラブ戦略委員長のお話にもあったように、今後クラブ細則について不足の部分や、変更箇所について検討実施をしていく必要があると思います。手続きがあるのですぐというわけにはいきませんが、戦略委員会の会議内容をよく精査して進めていきたいと思っています。

◆木更津東ロータリークラブの魅力や課題

◇小林千晃会員



本日はガバナー公式訪問ですので、梶原ガバナーに木更津東ロータリークラブの魅力をしっかりとお伝えしていくとともに、クラブの向上の為に課題も全員で共有できたらと思います。先日、皆様にアンケートをお願い致しました。その集計をもとに発表致します。

【魅力について】

1. 女性会員が多い

- ・その為、にぎやかで例会全体の雰囲気、少し華やか。
 - ・活発で明るい。
 - ・多種多様な考えのもと、活動ができ、刺激を受けることができる。
- 以上、男性の会員の方からのご意見だったのですが、お褒めの言葉を頂いたような気が致します。もっと女性会員が増えるようになればいいなあと思います。

2. 会員の構成が多様

- ・会員の年齢が幅広く、職種、業態が様々で活気がある。
- ・20代から80代までの年齢の会員が所属しており、年代に偏りがなくバランスがよい。

3. 例会場がオークラアカデミアパークホテル

- ・例会場自体が、ゴージャス。
- ・食事がとても美味しく、満足度が高い。特に洋食が人気です!!! 因みに、私も洋食が大好きです。
- ・他クラブに比べ、ぬるすぎないし、厳しすぎない。
- ・日々の活動に積極的。
- ・積極的に地域での社会活動をしている人が多く、クラブ外の方とのネットワークが広がった。

などのご意見を頂きました。

私自身が女性ということもあり、女性会員がもたらすクラブ内の雰囲気についてはよく分からないのですが、ロータリークラブの全体像として男性が多いイメージですので、もっと女性が増えていくといいのかなと漠然とですが、感じます。個人的には当クラブの魅力は何といっても全てにおいてバランスが取れているということです。会員の年齢層や職業は偏っていませんし、例会内容も楽しいばかりではなく、お勉強になる事が多く、例会終了後は参加して良かったなと思いつつながら、会場をあとにしています。また、先

日行われました太田山の桜の植樹も然りですが、木更津総合高校インターアクトクラブやボーイスカウト、ガールスカウトとの野外での奉仕活動に積極的に参加される方が多く、みんなで奉仕活動を行うというクラブ全体の結束力は素晴らしいと思います。

実は、私の同業種の補聴器販売店のお友達や知り合いにはロータリアンが多く存在します。お会いすると自然と自分が所属するクラブの話になります。そういったときに自信を持って、木更津東ロータリークラブだからこそその活動内容や魅力などをお伝えしています。

【課題について】

1. 会員増強

会員増強の一言が圧倒的に多かったです。また、中間の年齢層の会員が少なく、年代間の断絶がある。

2. 参加率の向上

例会の参加実績が少ないいわゆる幽霊会員や体調不良などの理由で欠席する場合の方へのフォローアップ。

3. 委員会活動の内容

奉仕事業を増やす。
委員会活動をさらに活発にする。
年度間の密な引継ぎ。

4. コロナ禍の対応について

緊急事態宣言下から現在も参加できない会員の為にリモートによる参加を取り入れて頂いていますが、奉仕活動や会員間の交流も「人の集まり」が基本となるなかで、コロナに端を発した、社会の変化にどう対応していくのか知恵を絞る必要がある。他には、木更津東ロータリークラブの活動について外部にもっとアピールすべき地元との密着度と様々なご意見を頂戴致しました。私は、課題というよりも是非取り入れて頂きたいことの一つに入会後の新会員向けの基本的小お勉強会の開催をお願いしたいです。しいては、それが参加率の向上や退会防止に繋がるのではないかと考えています。

例えば、当クラブは入会後すぐ、親睦委員会に所属して、例会開催時に会員の皆様を明るくご挨拶してお迎えするという活動に参加しますが、どうしてこういうことをするのかとか、ロータリークラブの例会出席は絶対で、欠席の際はメイクアップすることなどの、ロータリアンとしては基本的なことを、お伝えする時間が必要だと感じています。

これらのことは、入会して右も左も分からない私に先輩方から参加するたびに教えて頂いた事ですが、もし欠席が多ければ、このような基本的なことを知る機会がなく、本当に知らないままになってしまうのではないかと危惧しています。

また、例会出席については各委員会でお声かけして参加を促すとか、何か一歩踏み出した工夫が必要ではないかと思つています。

◇直前会長松岡邦佳会員

【木更津東ロータリークラブの誇れる点】

- 1.例会や事業の運営がしっかりしている。
(事前準備や段取りがしっかり行われており、当日になって慌てることが少ない)
- 2.メンバー数や世代数、入会歴等組織としてみた時にバランスが取れている。
- 3.チャーターメンバーの有島さんやPGの山田さんを中心に面倒見の良い先輩方によるクラブ内の研修や歴史の承継が適度に行われている。
- 4.メンバー間の仲が良く出席するのが楽しい。
- 5.例会プログラムが外部卓話も多く充実している。
- 6.若手や入会歴が浅い人が役職に就き積極的に活動していて、かつ先輩方が協力しつつ温かく見守っていて組織が活性化している。

【クラブの今後の課題】

- 1.奉仕事業がほかのクラブに比べて少ない
- 2.世代交代(特に有島さん(チャーターメンバー)、山田さん(PG)大澤さん(米山カウンセラー))に代わる人材の育成
- 3.グループや地区、他クラブなどにもう少し積極的に参加してもよいのでは・・・。

◆ガバナー講評

太田山の活動を含め、クラブとしての取り組みは継続していくわけで、会長、幹事が毎年変わるだけで、単年度制ではないのかなと思います。戦略計画委員会の方で、昨年度の会長、今年度の会長、次年度の会長または、その次の会長エレクト等が連携をとって、しっかりクラブの戦略を継続して新しいパターンをブラッシュアップしていただく、こんなことをやっていただければと思います。

会長の方からは、今後の方向性について具体的な話をいただきました。特に太田山の活動については、クラブとして、会長としても強い思いがあるようでございます。クラブのPRの部分においても、ぜひ多くの方に周知が出来るような取り組みを行ってってもらえたらと思います。太田山公園がどのくらいの広さになっているか分かりませんが、例えば活動する時に木更津東RCさんの『のぼり』を100本作って道路のところにたてて、その日はそれで活動するというだけでも、木更津東RCさんの存在を知っていただく機会になるのではないかと思います。いろんなことをチャレンジしていてくれることを願っております。小林会員から木更津東RCの魅力を感じました。女性会員が多く、活発に活動されているということは、クラブに対してすごい活力を与えているのでは

ないかと思います。金見会員が先日亡くなられたとのことで、本当に残念でございますけれど、ぜひ、彼女の思いを今の女性会員6名の方がしっかりと受け継いで、これからも女性会員をもっと増やしていけるように、みなさんと力を合わせていただきたいと思います。

どのクラブも継続的な課題ではありますが、けれども、クラブの温かさや魅力というものを、もっと奉仕活動を通じて地域社会に発信していただき、また、それぞれの事業所・職場で会員のみなさんが輝いてお仕事をされていくことで、サービス・職業奉仕を展開をされていく、それぞれの事業所の中でメンバーが活躍している姿、地域でしっかり職業奉仕をされている姿が結びついたところを会員外の方がみれば木更津東RCさんに賛同するってことは、こういう人たちになれるんだな、この人たちと仲間になれるんだな、自分をもっとブラッシュアップできるんだなということを確認できるのかなと思います。こういう時代でありますけれども、いろいろな手法を使って、活動していただいで地域で輝いていただければと思います。

◆閉会の言葉 石田亨副幹事



◆点鐘 12時15分 渡邊慎司会長